

果樹 1～2月の巡回調査結果の概要

【東北信】 巡回日 2月3～5日

1 りんご

- (1) うどんこ病のぼけ芽の発生は、4ほ場でみられた程度で発生量も少なかった。ぼけ芽を見つけたら、必ず健全芽2～3芽を含めて剪除する。
- (2) リンゴハダニの越冬卵は、調査ほ場ではみられなかった。もし、リンゴハダニの越冬卵がみられたら、マシン油乳剤を、無風時を選んで枝幹部に丁寧に散布する。重複散布は葉害を生じることがあるので注意する。なお、マシン油乳剤は商品ごとに登録内容を確認する。
- (3) ナシマルカイガラムシの発生が一部のほ場でみられた。ナシマルカイガラムシは若齢幼虫で越冬するため、休眠期におけるマシン油乳剤の散布は有効である。



図1 うどんこ病の伝染源となるぼけ芽



図2 ナシマルカイガラムシの若齢幼虫

【中南信】 巡回日 1月23～24日、2月12～13日

1 りんご

- (1) 昨年、リンゴハダニの発生がみられた調査ほ場において、越冬卵がみられた(図3)。

2 なし

- (1) 黒斑病の越冬調査では、せん定枝のぼけ芽、病斑はみられなかった。
- (2) リンゴハダニ越冬卵は9ほ場中4ほ場でみられた。(図3)。
- (3) カイガラムシ類が、一部園地で発生がみられた。

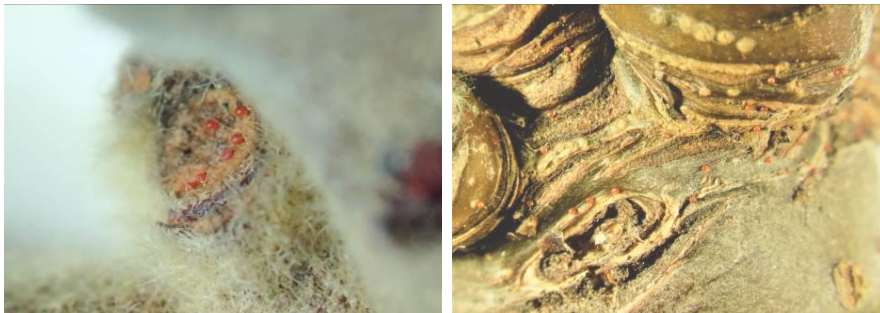


図3 りんご・なしの芽基部に産み付けられたリンゴハダニの卵